

8/19・8/20 **楽しみながら考える「森の循環」**

「オーガニック」「共生」「平和」をテーマにしたイベント、町内外から多くの来場者でにぎわう



トークセッション「丸太会談」では、林業家や建築業者などが、「森の循環の重要性」や「持続可能な地域」について意見交換

オーガニック(有機)をテーマに講演やワークショップ、音楽、食などを楽しむ「EVHA オーガニックキャンプ川根」が、八木キャンプ場(奥泉区)で開催されました。会場にはオーガニック料理や雑貨の屋台が並んだほか、ゲストによる音楽ライブや講演会、映画上映などが2日間にわたって行われました。主催した実行委員会の横山慎一郎委員長(尾呂久保地区)は「地域内での循環の重要性が注目されている中、こうしたイベントを通して、川根から『持続可能な地域』の未来像を発信していきたい」と話しました。

トンネルにあやかり安産祈願 8/22

6月に貫通した青部トンネルの貫通石が「安産のお守り」に

国道362号「青部トンネル」の工事施工者である「鴻池・梶山特定建設工事共同企業体」は、「トンネル貫通点の石」を加工したお守り50個を、町に贈呈しました。

工事事務所の山下和也所長は「地域の皆様のご協力が無事に掘削できたので、恩返しできれば。安産の縁起物である貫通石にあやかり、元気なお子さんを産んでほしい」と話すと、第3子の出産予定日を10月上旬に控える梶原真己さんは「心強いお守りをいただいたので、安心して出産に臨みたいと思います」と感謝しました。



山下所長から町内在住の妊婦さんにお守りが手渡された

8/26 **みんなで育てる「在来の味」**

接岨区で昨年発見された「在来そば」の種をもとに、そばづくり体験を企画

エコティかわねと「園芸友の会」は、町営桑野山特定農地(桑野山区)にて、「在来そばづくり体験」プログラムの第1回を開催しました。

プログラムは全3回で行われ、10月に実を収穫し、11月には「そば打ち」をして味わう予定です。初回は、町内外から参加した9人が「友の会」の手ほどきで畑に種をまき、目印の看板を立てました。焼津市から父親とともに参加した向坂和士くん(11歳)は「まんべんなく種をまくのが難しかった。収穫できるのが今から楽しみです」と笑顔で話しました。



1人当たり400グラムの種をまき、ホウキで土になじませた

9/9 ~ 9/12 **はつらっプレーを披露**

町内から4人がねりんピックに出場



(左から)中田さん、鳥本さん、中野重男さん、中野増伸さん

全国のシニア世代がスポーツや文化活動で交流を深める「第30回全国健康福祉祭あきた大会」(ねりんピック秋田2017)に、町内から中野重男さん(久野脇区)、中田健次さん(桑野山区)、鳥本宗幸さん(水川区)、中野増伸さん(下長尾区)の4人が出場しました。

4人は、軟式野球チーム「静岡大井川クラブ」のメンバーとして、2試合を戦いました。会場別トーナメントで準決勝敗退と、惜しくも優勝はなりませんでしたが、はつらつとしたプレーでチームに貢献しました。

感謝の思いを音色に乗せて 9/10

「第13回赤石太鼓コンサート」、保存会35周年を記念して盛大に開催

赤石太鼓保存会主催の「第13回赤石太鼓コンサート」が町文化会館にて開催されました。

保存会や川根高校郷土芸能部が、アンコール1曲も含めた全9曲を披露し、その勇壮で迫力ある演奏が観客を魅了しました。また特別ゲストとして「はいばら太鼓保存会」(牧之原市)も出演し、全身を使って表現する曲目や軽快な笛の音色が会場を盛り上げました。コンサート終了後、同会常任委員長の殿岡大輔さん(千頭東区)は「私たちが活動できるのは皆さんの支えのおかげ」と約100人の来場者に感謝しました。



【保存会よりお知らせ】
「保存会では、新規メンバーを常時募集中です。体験してみたい方は、お気軽に080(1579)2159(殿岡)まで！」

「お達者度」男性 1位、女性 2位に！

県は市町別の「お達者度」(2014年版)を発表し、川根本町は、男性が19年3カ月で県内1位に、女性が22年0カ月で2位に輝きました。お達者度は、65歳をスタート年齢として元気で自立して暮らせる期間を算出し、市町別に示した指標です。川根本町は、男性が2年連続首位、女性が昨年の3位から順位をひとつ上げました。



笑いの絶えない「サロンハッスル」(小長井区)

【ぜひご参加ください！】

健康長寿は「バランスのとれた食生活」「適度な運動」「社会参加の機会創出」の3要素が大切といわれています。

町では、この3要素を推進するためのさまざまな巡回事業を、各地区で開催しています。

会場や日時、内容については「かわねフォン」で順次配信していきますので、ぜひご覧ください。